

2023年11月1日  
第569号  
(毎月1日発行)

咲いたネット  
URL：  
http://www.saitanet.or.jp  
Eメール：  
saita@saitanet.or.jp



発行所  
埼玉県労働組合連合会  
〒330-0063  
埼玉県さいたま市浦和区高砂  
3-10-11 第一木村ビル  
TEL 048-838-0771  
FAX 048-838-0775  
編集発行人  
埼玉県労働組合連合会  
【定価】1部50円  
(組合員の購読料は組合費に含む)

# 青年・次世代・非正規労働者の結集めざし 埼労連なかま増やし交流集会

埼労連なかま増やし交流集会が9月30日(土)午後1時から、さいたま共済会館で開催され、12単産・15地域組織からの参加があり、事務局を含め、全体で64人が参加しました。

今回は、4年ぶりに現地参加のみでの開催で、全大会での提案の後に分散討論を行う形にしました。

集会では、宍戸事務局長からの報告(①昨年の交流集会での問題提起)「減



共済会館に64人が参加

少の原因を明らかにする」意思統一、②組合員の拡大がすすんでいる組織の教訓、③次世代のとりくみが広がり始めた、④運動が前進しても自然発生的に組織は増えない)を受けた後、3つの組織から組織強化・拡大についての事例報告(自治労連、埼教組、蕨地区労)をしてもらい、7つの分散会に分かれて討論を行いました。

分散会の討論テーマは、①それぞれの



7分散会に分かれて討論



前島副議長のまとめ

組織における強化・拡大の到達点と実増に向けた課題のヒントをつかむこと、②青年・次世代層の結集、非正規労働者の組織化に向けて、という2つで、各分散会で自身の組合の現状や今後の展望について報告しあい、提起された内容と討論テーマを深めました。それぞれの分散会では率直な悩みや、他の組合への質問なども出され、少人数の分散討論ならではの具体的な話し合いとなりました。

分散会終了後は、3つの分散会から討論内容についての報告を受け、最後に、前島副議長(組織拡大推進委員長)が討論のまとめを行い、この秋の重要な課題の一つとして、組織強化と拡大を進めていくことを確認しました。

## \* 紙面から \*

- |                |      |              |      |
|----------------|------|--------------|------|
| ■ なかま増やし交流集会   | (1面) | ■ 東部地区協ボウリング | (5面) |
| ■ 最賃宣伝         | (2面) | ■ 春闘共闘年次総会   | (6面) |
| ■ 虐待禁止条例改正案に抗議 | (4面) | ■ 埼労共のページ    | (8面) |

# 改定された最低賃金を周知 各地域で最賃宣伝を実施

## 深谷寄居地労連

深谷寄居地労連は、10月3日(火)午後6時から、深谷駅北口で10月からの埼玉県の新しい最低賃金を知らせる駅頭宣伝行動を行い、4団体7人が参加しました。

今回の宣伝行動でも馴染みの「Minimum wage ¥1500」最賃Tシャツを着ながら、労働相談ポケットティッシュの中にビラを折り込んで宣伝を行いました。

今回はハンドマイクとスタンドパネルの他にプラスチックも作成、



深谷駅北口

目につくアピールをしました。ティッシュを受け取り、パネルの前で足を止める人もいました。

少しでも興味を持ってもらうために「そもそも最低賃金とは」「時給1028円未満は違法」「最低生計費はどの地域でも大差はない」この3つを中心にハンド

マイクで訴えました。また、県北ということもあり、群馬県の最低賃金935円もお知らせし、地域間格差についても宣伝しました。

参加者からも「群馬と埼玉でこんなに差があるのか」「確かに群馬県から埼玉に仕事に来る人も多いよね」と感想もありました。今後とも工夫を凝らして「最賃制度を知ってもらう」ことを意識して取り組んでいきたいと思えます。

(深谷寄居地労連発)

## 所沢地区労

所沢地区労は10月4日(水)午後5時30分から、所沢駅西口で最賃宣伝に取り組みました。この日は、最近の天候不順により参加者



所沢駅西口

が少なかつたですが、2組織10人が参加しました。

市川議長がマイクを握り「隣の駅(秋津駅・東村山駅)では、時給が1113円、神奈川では112円と同じ首都圏でも賃金格差が起きているのはおかしい。2030年代半ばまでに時給を1500円と新たな目標を表明した岸田首相だが、輸入品による物価上昇に伴うインフレに賃金が追いついていない。今すぐ全国一律最賃制をつくり、最賃時給は1500円にするべき」と訴えがありました。

その後、参加した2人も「普通の生活を送るためにも最低1500円以上が必要」と訴えがありました。1時間の宣伝予定が途中で

降雨により30分ほどで終了しましたが、チラシ付きポケットティッシュを約500個配布することができました。  
最後に市川議長より「引き続き、今すぐ全国一律1500円以上を目標に取り組んでいきましょう」とまとめのあいさつがされました。

最後に市川議長より「引き続き

(所沢地区労発)

## 伊奈町で意見書が採択 最賃学習会受け即行動(AOI)

9月20日に、伊奈町で「最低賃金の格差是正と中小企業支援の実現を求める意見書」が採択されました。東松山市に次いで県内2番目の意見書採択です。

修正すれば賛同がもらえるという調整を図ってくれました。

意見書の内容として、格差是正という言葉に変わったものの、めざすべき要求から逸脱するものではないことから、この内容でOKとしました。すでに議会運営委員会

労連は、8月28日に行った「最賃オンライン学習決起集会」での提起を受け、すぐに伊奈町の共産党議員団と連絡を取り、8月31日に意見交換を実施しました。その中で、共産党の大沢町議が「この内容なら、他の党派への働きかけは自分がやってもいいので、内容の修正などについては、AOI労連とも調整しよう」と請け負ってくれました。大沢議員の他党派の議員との日常のつながりを生かし、「全国一律最低賃金制度」という言葉を「最低賃金の格差是正」に

学習会での提起を即実行に移したことで、思わぬスピードでの実施となりましたが、これも「まず足を出そう」という提案を实行了したことから実現したものです。意見書の扱いは議会ごとに対応が千差万別ですが、足を出さないと変化は作れないことを改めて示すとりくみとなりました。

# 会計年度任用職員の組織化へ

全労連が9月26日(火)午後7時から全国オンラインで、会計年度任用職員組織化プロジェクトキックオフ集会を開催し、全国各地から100回線を超える参加がありました。

集会は、全労連が当該単産や地方労連と力を合わせて、組織化をすすめていくことと呼びかけるもので、自治労連、全教、医労連など当事者を組織する単産のほか、地方労連・地域労連がオンライン参加しました。埼労連から、前島副議長・組織拡大推進委員長、尾形事務局次長、龍尾幹事、舟橋幹事・全労連女性部長、比企労連・島田議長が参加しました。

自治労連から会計年度人職員の現状と課題について報告があり、そのあと決意表明がありました。比企労連・島田議長は、東松山市の学校事務職員組織化の実践を話



オンラインで発言する島田さん

# 憲法月間を設定(春日部労連)

春日部労連は9月21日(木)夜に幹事会を開催しました。

まず、加盟組合の報告から始まりました。まず土建春日部支部が拡大月間の中間決起集会を開催、11分会115人の参加でバーベキュー交流をしたことが報告されました。また月間目標は77人ですが、幹事会時点で42人の到達で奮闘しています。埼高教は10月から拡大月間で、つどい合い・語り合いでカフェを開催。自治労連春日部市職は組合加入の声を始め

ています。春教組は8月25日の学習会に未組合員が5人参加し、給食室の環境が劣悪で栄養士さん宛てにアンケートを実施しています。春日部学童は来年4月の指定管理新規参入に向けて3社が参入、現在指定管理を受けているトライも参加、市内3ブロック全部を獲得することを要望しているようです。これらの交流は春日部労連の力になっています。

組織拡大の課題も合わせて取り組むと、命と暮らしを守る憲法

して、参加者を激励しました。

月間を設定しました。まず、各組合の執行部自身が署名に取り組みこと、次回10月18日の幹事会までに、自身が職場にどう訴えたか、担い手を広げたかを点検することにしました。

憲法月間は第1期間が10月11日、第2期間は11月の春日部労連大会から2月の春闘・地域総行動までです。当面、市内の各団体と共同して、白神優理子弁護士講演に参加します。学習会終了後、共同センターに合流して春日部東口で宣伝署名行動を予定します。

# つながりいかして拡大(埼教組)

埼教組では10月からの第2期加入促進月間で、5人が加入しています。加入に至るきっかけは、この間のつながりからの加入が特徴です。

採用3年目の25歳の教員は、埼教組組合員からサークルに誘われ、これまで学習を通して関わりをもってきました。

今年度になって組合員から「サークルの先輩はみんな組合員」と紹介され加入しています。

また、別の職場ではハラスメントを受けている教員がサークルでつながっていたので、組合員が相談にのり声をかけ加入してくれました。

SNSを使っている組合員も1件ありました。

10月の中央執行委員会では、中央執行委員の職場で共済説明会をやるうとの提起を受け、具体化が始まっています。

職場に配るチラシの作成、職場共済説明会支援金2000円での

また、別の職場ではハラスメントを受けている教員がサークルでつながっていたので、組合員が相談にのり声をかけ加入してくれました。

SNSを使っている組合員も1件ありました。

10月の中央執行委員会では、中央執行委員の職場で共済説明会をやるうとの提起を受け、具体化が始まっています。

職場に配るチラシの作成、職場共済説明会支援金2000円での

2023年度 2023.10.19 NO.13 みなさんのとくにお知らせください

組合員	別産	ビックスリー	総会	教職	くら船
組目標 429	308	組目標 110	33	32	15
現勢目標 370		現勢目標 102			

**第2期加入促進月間 3人組合加入!**

**再加入します**  
HPより加入申込

**学習でかかわりもって**  
さいたま支部 菊地さん

採用3年目の教員を、昨年サークルに誘い、学習を通してかかわりを持ってください。その結果、この職、金井裕子さんも組織しながら加入にむけた段取りを進めてきました。

今年度になってから「サークルの先輩はみんな組合員」と言って組合に誘いました。1週間ほどお入りいただき、自分がかかわれる間に組合の意識が強まるようにしたいです。

**サークルのつながり活かして** 三郷単組 岩田さん

市内の組合員から、ハラスメントを受けている方がありました。サークルでつながりもある方だったので、相談にのり声をかけて加入につながりました。

中央執行委員の職場で開催具体化すむ

**共済説明会開催を**  
10/2の中央執行委員会、中央執行委員それぞれの職場での職場共済説明会の具体化がすすみました。

共済では、職場に配るチラシの作成、職場共済説明会支援金2000円のお茶菓子の用意をします。

ぜひみなさんも具体化を。

**全教共済 秋募案** チラシ好評! 10件の資料請求!

今年度の秋募案、分会員のいない職場と協賛者と再任用短時間勤務者の分会員職場へは、「全教職員配布」として、学校長宛に40部づつ、生命、医療共済チラシを送り、配布の依頼協力しました。

配布から2週間、「職員数分ないので」と追加枚数の連絡と10件の資料請求。加入申込は1件、おうちの共済見取りが1件と成果が出ています。

資料を載れば魅力が伝わる全教共済です。職場にお送りした共済・組合資料セット3部を活用をお願いします。

青年部「人事調書の書き方オンライン講座」  
最終回 10/20 21:00-22:00 申込はコチラ

# 自民党が虐待禁止条例改正案を撤回 現実離れの内容に全国から非難の声

「小学校3年生以下の子どもを自宅に残しゴミ出しに外に出たら虐待？」などとTV全国ネットで放送された県議会自民党の「虐待禁止条例」一部改正案をめぐり、10日(火)午後には県議会自民党が

記者会見し、成立断念、改正案を取り下げることを見せました。

新婦人県本部はじめ多くのみなさんが10日正午から午後1時まで県庁前で抗議行動を実施。埼玉連も共同し、緊急の呼びかけにもかかわらず230人が参加して、怒



10月には230人が参加

りのアピールをしました。埼玉連は10日朝に議長名で条例に反対する声明を出し、単産・地域組織に配信、埼玉連ホームページやツイッターにもただちに掲載しました。

埼玉連は県議会自民党の動向をふまえ、①「9月定例会での成立を断念」とあるように、まだ「火種」は残っていること、②そもそ

もの提案趣旨からすれば、県議会自民党の本質的な考え方は、自民党の古い体質であり、危険な策動は起こりうること、③県議会で圧倒的多数を持つ自民党県議団の「驕り」、「傲慢」そのものであることを指摘。13日の本会議終了まで、①緊急署名、②11日から13日までの県庁東門での緊急集会実施、③自民党が二度とこのような

暴挙ができないよう断念させるため、委員会で賛成したのは自民党と公明党であることを含め、組合員に事実を語り広げること、を呼びかけました。

結果として9月県議会最終日の



連日100人が抗議行動

10月13日(金)の議会運営委員会で、「虐待防止条例」改悪案の撤回が提案され、本会議で正式に撤回したことが報告されました。当日は、埼玉連から専従役員が参加(傍聴)しました。

10日(火)から続いていた県庁東門での抗議行動は最終日も正午から行われ、労働組合や様々な民主団体、そして党派を超えた地方議員の方々、短期間のなかで集めた署名を持参した方々など、連日100人を超える参加がありました。リレートークで思いをつなぎながら、条例案撤回を生み出した県民の奮闘への確信と、引き続き県議会自民党の横暴を許さないことなどを確認しました。

# 最賃額1028円を周知

埼玉連と労働法制埼玉連絡会は9月29日と10月16日に、埼玉県の新しい最低賃金を周知する宣伝を行いました。

9月29日(金)は昼の12時30分から13時30分まで浦和駅東口で最賃宣伝を実施、この日は2組織7人が参加して、10月1日から埼玉の最賃が時給1028円に上がることに、安心して働き暮らすためには少なくとも時給1500円に上げるのが重要であることを宣伝しました。

10月16日(月)は午後5時30分から浦和駅東口で行い、4団体13人が参加しました。10月から埼玉



9月29日の宣伝(昼)



10月16日の宣伝(夕方)

県の最低賃金が時給1028円になったことを周知するとともに、埼玉連が行った「最低生計費資産調査」からも、物価の高騰が続いている現状では、最低賃金は時給1600円以上必要であることを訴えました。

新島議長をはじめ、埼高教委員長で埼玉連最賃公契約適正化委員会の小澤委員長、全国一般埼玉地本の林博義副委員長がマイクを握り、市民に最賃引き上げ・全国一律最賃制確立を呼びかけました。全労連が10月から取り組んでいる全国一律最賃制度を求める署名にも取り組みました。

# 次世代の仲間と結集よびかけ 東部地区協次世代ボウリング



真剣にボウリング

東部地区協次世代実行委員会は10月21日(土)に春日部ターキーボウルで、実行委員によるプレ企画として、ボウリング交流会を開催しました。

当日は三郷から労連役員2人、草加八潮からは学童労組4人(草加)と土建4人(八潮)、越谷から労連役員1人、春日部から市教組1人・土建2人、蓮田から福祉保育労4人、埼北から土建4人



次世代の仲間が結集

チーム戦の成績は、過ぎました。の運動で指が痛い」の声もあるなか、1時間半はあつという間に

(久喜幸手2人・宮代2人)、加須から労連役員1人と土建3人の計26人が参加。このプレ企画は、次世代交流を重視したとりくみとして東部地区協主催の実行委員会への裾野を広げる交流会として位置づけられたが、26人中17人が次世代(40代以下)となりました。

ボウリング終了後に、表彰と記念撮影を行い、参加者に「今後の実行委員会に参加してほしい」と訴え、ボウリング交流を終了しました。ボウリング後には希望者による交流会も行いました。(東部地区協次世代実行委員会)



24人が参加

# ボウリングと交流で結集はかる 戸田地区労ボウリング大会

戸田地区労は9月29日(金)夜、恒例の地区労主催ボウリング大会を昨年に続き浦和スプリングレーンズで開催し、その後、交流会を行い、全体で9団体24人が参加しました。

横田議長のあいさつに続き5分間練習した後、始球式でボウリング大会がスタートしました。声援が飛び交うなか、ストライクやスペアが出るのとひととき大きな歓声上がりそれぞれタッチを交わし合い、拍手喝さい。逆にガーターが出ることに嘆き声があり、各レーンとても盛り上がりました。2ゲーム行い、終わったところから交流会の会場へ移動、午後7時30分から交流会を始めました。

(戸田地区労発)

交流会では議長あいさつ、土建・生沼さんの乾杯でしばらく歓談した後、成績発表をし、プービー賞と1位から3位までの表彰式を行いました。その後、各団体から近況報告や訴えをしてもらい、和

気満々の雰囲気なかで楽しい時間を過ごしました。参加者からは、世論の多くの反対を無視して強行している「軍拡」のことや、「インボイス制度、保険証問題」などが話題になり、悪政を押し進める岸田政権に対する怒りとともに、一日も早く今の政治を終わらせようという熱い思いが語られました。最後に、副議長の服部さんの閉会の挨拶で終了しました。

# 24春闘の構想を討議

## 国民春闘共闘年次総会

全労連や純中立労組でつくる国民春闘共闘委員会は、10月20日にエッサム神田で総会を開き、2024国民春闘方針構想案を提案しました。

「いますぐ全国一律15000円、めざせ17000円」などの底上げ要求に重点を置き、低賃金や

格差に苦しむ当事者を組合に迎え入れながら、ストを構えて要求・交渉する取り組みを呼び掛けました。黒澤事務局長は、「ストライキを力に、組合の力を実感できる春闘に」と訴えました。



菅弁護士によるストライキのはなし

構想案は「引き続き物価の高騰に充分に対応でき、さらに生活改善をめざすベースアップが必要。特に、より困難を強いられる非正規労働者や、差別的な低賃金に置かれていた女性の賃上げを重視する」との考え方を示しました。

そのうえで、今年の統一要求は各地で行った最低生計費試算調査を根拠に、底上げ要求に重点を置き、誰でもどこでも時給15000円以上、月額では22万5千円以上の企業内最低賃金の協定締結を提案しました。

方針で特に強調したのが、低賃金や格差に苦しむ当事者に、春闘の要求づくりや交渉、行動に参加してもらうことで、組織化の展望を図りたいとしています。

また、全ての組合が実力行使（ストライキ）を背景に交渉し「納得できる回答を引き出すまでは妥協しない」という構えで、上積みを図るまで全力をあげる」ことも呼び掛けています。

男女間賃金格差の是正も春闘期の



オンラインを含め80人以上が参加

の課題として、24国民春闘を非正規春闘として位置づけ、ジェンダー平等推進もすすめていくことが提案されています。

集中回答日は、3月13日を提案し、当日は昨年続き「特別ネット番組」を行う構想も報告されました。

提案後は、参加組織から報告と決意表明があり、23春闘の教訓を24春闘に活かしていくための決意と23秋闘での奮闘などが語られました。

埼労連からは、新島議長、加藤幹事が参加し、加藤幹事が埼玉のこの秋のとりくみについて発言しました。

# 土建の事務所を借りてBBQ

## AOI労連

AOI労連は、前に行っていたボウリング行事で使っていたボウリング場がコロナ禍の間に閉鎖してしまい、どうしようかと労連幹事会で相談し、場所と道具が借りられるという理由で、埼玉土建上尾伊奈支部事務所の駐車場でバーベキュー&交流会を行うことになりました。

10月1日(日)午前11時から、埼玉土建支部事務所のみなさんがセッティングしてくれた前庭に、埼玉土建、上尾市教組、SU中部支部など加盟6組合のほか、組合OBや議会を終えた市議さんたちも加わって総勢31人になりました。

「秋の活動、頑張ろう、乾杯！」の後、3テーブルそれぞれに焼いて食べて語り合い……。

組織紹介の場では、学校の問題（教員不足や統廃合など）、埼玉土建の組織拡大の取り組み（支部目標を上回るぞ！）、春闘に向けて取り組みのこと、労働争議の体験（会社は働く人を大事にするべき！）など、それぞれの話に耳

を傾けました。

日本共産党上尾市議団からは、諸々の意見書が1票差で通らなかったことが報告されました。

最後に柴田議長が「組合の要求実現・暮らしやすい地域づくりのため、みんなでつながって頑張っていきましょう！」と挨拶して終了しました。満腹・満足の交流会でした。

(AOI労連発)



31人で交流

# 9月は保険証廃止反対の宣伝

## 鴻北労連

鴻北労連は9月14日(木)の午後6時から、北本駅で「保険証の廃止に反対しましょう」と宣伝行動を行い、4団体14人が参加しました。

「かなりです」と訴えて、チラシ・ティッシュを配りました。夕暮れで帰路を急ぐ人々も手を伸ばして受け取ってくれました。

宣伝では、「マイナ保険証はトランプ続きで患者や医療機関で混乱しています。このまま保険証を廃止すれば国民のいのちが守れない」と訴えました。

次回11月には、埼玉県の新しい最低賃金が1028円になったこととの周知と合わせ、「全国一律最賃制をつくり、最賃時給1500円にすること」を宣伝しようと計

# 5支部で前進回答(JMITU)

JMITU埼玉地本は10月の秋闘で、要求を提出した11支部のうち、5支部で前進回答を引き出しています。

また、今回の秋季年末闘争の事



前要求行動から、日本製罐支部にも訪問しました。支部結成当時は会社側が敷地内に入れないなどの動きがありました。度重なる団体交渉で押し返し、今回は社内の一室で要請書の提出をして、今の会社の状況などについて短時間ではあっても懇談ができるようになりました。

今年になってから新しく立ち上げたピーエスフードサービス支部では、組合結成により会社側が慌ただしくなり、雇用契約がずさん



北本駅で宣伝

画しています。

(鴻北労連発)

だったため契約書を新たに強引に結ぶこととなり、36協定がないのに残業させるなどのひどい実態がありました。支部委員長が労働者代表に立候補し、会社側を相手に約150人の労働者のうち119人が支持し、労働者代表に選出されました。

東京セキスイハイム支部では、やりたくない残業は拒否できるということ。33歳の男性が加入しました。もともと支部でも加入対象者になっていた、つながりのある労働者でした。

### 2023年秋の自治体訪問 日程

集合時間	9:30	12:40	15:10
開始時間	10:00	13:10	15:40
終了時間	11:15	14:25	16:55
11月10日(金)	① 蓮田市		
13日(月)	① 小鹿野町	智野町	長瀬町
	② 川島町	吉見町	東松山市
	③ 寄居町	深谷市	熊谷市
	④	志本市	新座市
	⑤	行田市	
	⑥	上尾市	伊奈町
14日(火)	① 越谷市	吉川市	松伏町
	② 入間市	飯能市	日高市
	③	鴻巣市	北本市
	④ 杉戸町	宮代町	白岡市
	⑤	横瀬町	秩父市
15日(水)	① ふじみ野市	富士見市	三芳町
	② さいたま市		川口市
	③		東秩父村
	④ 桶川市	小川町	上里町
	⑤	本庄市	朝霞市
	⑥	和光市	
16日(木)	① 川越市	鶴ヶ島市	坂戸市
	② 所沢市	狭山市	
	③		春日部市
	④	羽生市	
	⑤ 加須市	久喜市	幸手市
17日(金)	① 蕨市	戸田市	
	② 三郷市	草加市	八潮市
	③ 鳩山町	嵐山町	清川町
	④	神川町	美里町
	⑤	越生町	毛呂山町

# 暮らしやすい自治体をめざし 2023全自治体訪問行動

11月13日から、県内63自治体への『2023全自治体訪問行動』が行われます。

すでに各地区協会の事前学習会も終わり、各地域組織ごとの打ち合わせも始まっています。

事前学習会の中では、「シルバー人材センターのインボイスへの対応について」や、「会計年度任用職員の雇止めについて」など、いろいろな課題が出されました。

会計年度任用職員を巡っては、10月の最低賃金改定によって、63自治体中40自治体が最低賃金以下の時給になるなど、最賃に張り付く

賃金構造も大きな課題です。低賃金での任用は、住民サービスの低下につながる課題でもあります。各自自治体で抱える課題を明確にし、懇談ではお互いに協力して改善していくことをめざしていきます。

安心して暮らせる自治体づくりに向けて地元住民の立場で関係自治体に参加しましょう。差参加する場合は当該の地区労・地域労連の役員に連絡してください。

なお、先月掲載の日程表から一部変更がありましたので、確認をお願いします。

# 11月の上映案内

11月の上映は「土を喰らう十二月」です。長野の山荘で暮らし、山の実やきのこを採り畑で育てた野菜を自ら料理する。四季の恵みに感謝し十二月を生きる。人々がいつしか忘れてしまった土の匂いのする生活を思い起こし、人としての豊かな生き方を教えてくれる。

料理研究家・土井善晴が映画で、四季折々の食で綴る人生ドラマであり、ジュリーこと沢田研二主演の映画です。

日時 11月28日(火)

① 10時30分〜12時30分

② 14時〜16時

③ 18時30分〜20時30分

場所 埼玉会館 小ホール

埼玉共専用入場整理券の利用で900円でご覧いただけます。



## 丸大食品 乾旋

丸大食品「冬のギフト」を小売り希望価格の30%割引で乾旋販売します！

毎年恒例となつていきます丸大食品の乾旋販売

です。チラシは各職場に送付します。

「申込書付きのチラシ」を利用し、直接申し込んでいただければ、(指定い



## 埼玉共総会

埼玉共は10月14日に第19回総会を開催し、2022年度の事業報告と2023年度方針案、2022年度決算、2023年度予算が確認されました。

また、2023年度の役員が選

出されました。

理事長：新島善弘

副理事長：尾形佳宏、西口哲之

専務理事：龍尾由美子

常務理事：山崎秀弘

理事：磯前ひろ子、中山松夫、

箱田友紀、町田誠、

監事：占部修吾、六戸出

## フードバンク 第93・94便

9月後半から10月前半にかけてのフードバンク活動では、第93便は9月29日(金)、熊谷地域労連から玄米30キロ2袋で合計60キログラムが寄せられ、フードバンク



フードバンク第93便

埼玉に届けました。

また、第94便は10月11日(水)、埼玉土建本部からアルファ米など50・2キログラムが寄せられ、フードバンク埼玉に届けました。

フードバンク埼玉事務局から、「米類の需要が多いため大変ありがたい」と喜ばれています。



第94便